

【参考2】中国五鉱有色金属股份公司/China Minmetals Non-ferrous Metals Co.LTD.

1. 企業概要

本社	中国 北京
主要事業〔鉱種〕	鉄鉱石・鉄鋼、非鉄金属の原材料・地金・中間製品の貿易、及び投資企業を介した生産事業〔Fe,Al,W,Cu,Sn,Ni,Zn,Pb,Sb,REE,貴金属,その他レアメタル〕
従業員数	30,000人
決算日	12月末日
主要関連会社	<p>中国五鉱有色金属股份公司(Minmetals Non-ferrous Metals Co.Ltd.)は、中国五鉱集团公司(China Minmetals Corp.)の直接持株企業(メジャーシェア)中国国内14社のうちの1社であり、82.25%の株式を有する。</p> <p>〔参考〕中国五鉱集团公司(Minmetals)グループ企業(総計112社)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独資企業 [29社(中国国内:12社+海外:17社)] ・直接持株企業(メジャーシェア)[15社(中国国内:14社+海外:1社)] ・間接持株企業(メジャーシェア)[34社(中国国内:21社+海外:13社)] ・直接持株企業(マイナーシェア)[10社(中国国内:8社+海外:2社)] ・間接持株企業(マイナーシェア)[24社(中国国内:19社+海外:5社)] <p>五鉱有色金属股份公司(Minmetals NF)の投資企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五鉱資源公司(Minmetals Resources Co.Ltd) ※アルミ貿易,アルミ加工,銅製錬,銅線等 ・江西钨業集团有限公司(Jiangxi Tungsten Industry Group Ltd.) ・江西省修水香炉山钨業有限責任公司(Jiangxi Xianglushan Tungsten Co.,Ltd.) ・南昌硬質合金有限責任公司(Nanchang Cemented Carbide Limited Liability Company) ・五鉱贛州錫業有限公司(Minmetals Ganzhou Tin Industry Co.,Ltd.) ・広西華錒化工有限公司(China Antimony Chemicals Co.,Ltd.) ・広西華晟五鉱貿易有限公司(Arksun Metals Co.,Ltd.) ・五鉱有色金属连云港有限公司(Minmetals Nonferrous Metals Lianyungang Co.,Ltd.) ・北京網五鉱網絡技術有限責任公司(China Metals Net Co.,Ltd.) ・厦門钨業股份有限公司(Xiamen Tungsten Co.,Ltd.) ・江西華銀鋁業有限公司(Guangxi HuaYin Aluminium Corporation) ・中銅連合銅業有限責任公司(CUC:China United Copper Co.Ltd) ・贛州市特迪希土有限公司(Ganzhou TD Rare Earth Limited) ・Sino Mining International Limited ・Sherwin Alumina, LP. ・Minxia Nonferrous Metals, Inc.

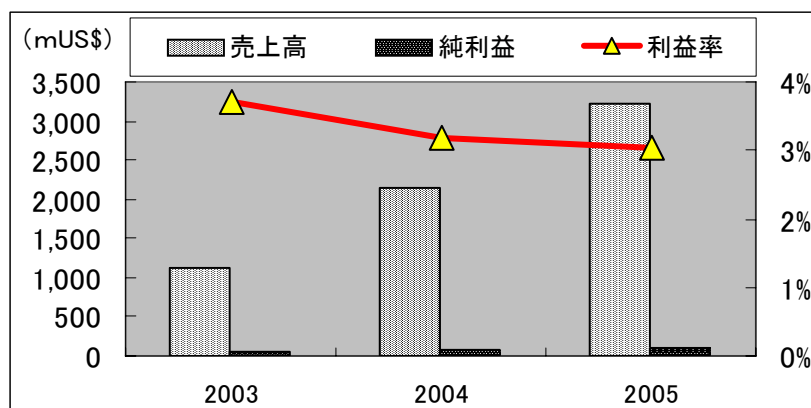
2. 財務状況〔US\$換算値(mUS\$):括弧内斜体文字は同社公開による”元”表示額(百万元)〕

年度	2005	2004	2003
売上高 Revenue from core〔①〕※1	3,224 <i>(26,414.45)</i>	2,135 <i>(17,673.51)</i>	1,130 <i>(9,354.19)</i>
当期利益 Net Income〔②〕	98 <i>(799.96)</i>	68 <i>(564.44)</i>	42 <i>(347.15)</i>
利益率〔③=②/①〕	3.0%	3.2%	3.7%
資産 Total assets ※2	1,417 <i>(11,613.98)</i>	1,080 <i>(8,936.53)</i>	768 <i>(6,360.56)</i>
為替レート(元/US\$)	8.1943	8.2768	8.2770

※1:中国五鉱集团公司(China Minmetals Corporation)の2005年売上高は17.78bUS\$であり、五鉱有色金属股份会社の同年売上高3.2bUS\$はその18%に相当する。

※2:為替レートはIFS-International Financial Statisticsによる。

*本文中において漢字表記の固有名詞は原則として日本語表記とし、特有の漢字のみ原文のままとする。(例:五礦→“五鉱”、金属→“金属”、稀土→“希土”、國際→“國際”、責任→“責任”、集團→“集團”、朕合→“連合”、發展→“發展”、總公司→“總公司”)



中国五鉱有色金属股份公司：売上高、純利益、利益率の推移

3. 生産・輸出入品目

部門名称	品 目		
	輸入	生産	輸出
アルミニウム	アルミナ(35%シェア)	アルミナ、アルミ地金	アルミ地金 (100kt=8%シェア) ※2
タングステン		APT、三酸化タングステン、 WP、WC ※1	(同左:45%シェア)
銅	銅精鉱(10%シェア)、 粗銅、スクラップ、 電気銅(30%シェア)	銅地金、銅製品	銅製品
錫、ニッケル	錫精鉱、錫地金、 ニッケル地金	錫精鉱、錫地金、 ニッケル地金	錫精鉱、錫地金、ニッケル 地金
鉛・亜鉛、貴金属、希少 金属	鉛精鉱(18%シェア)	地金、金属製品	(同左:Pb6%、 Ag14%シェア)
アンチモン		アンチモン地金、酸化物	(同左:45%シェア)
レアアース		金属、酸化物、塩類、 蛍光体粉、磁性材料	(同左:13%シェア)

※1:タングステン製品の略称[APT:パラ・タングステン・アンモン、WP:タングステン粉、WC:タングステン・カーバイド]

※2:表中の“シェア”とは中国国内計に対する割合を示す。

4. 沿革

(1) 中国五鉱集团公司及び中国五鉱有色金属股份会社の概要

中国五鉱集团公司 (China Minmetals Corp.: 以下「Minmetals」)

中国中央政府組織である“国有資産監督管理委員会”が国务院の指導を受けて管理する国有企業集団の一つである。国内の国有非鉄製錬企業に対し長期安定した原料確保が出来るよう中国政府の政策に従って事業を展開している。1992年、Minmetalsは国务院によって全国初の企業集団テストケース55社と国有資授權経営企業7社の一つに、1999年には中央が管理する国家重要企業44社に選ばれている。2004年の鉄鋼取引高は11.3百万tに達し、中国最大の鉄鋼企業となった。同社ホームページによれば2006年現在における6大主要ビジネス分野とは、①鉄鉱石・鉄鋼、②鉄鋼用原料及び工業用鉱物、③非鉄金属、④金属製品及び電子製品の貿易、⑤金融・不動産、⑥サービス(金融・コンサルティング・倉庫・運送等)であり、及び2つのビジネスユニット(i)海運・請負業及び(ii)鉱業がある。非鉄金属では銅精鉱輸入量、アルミナ輸入量、タングステン製品輸出品量、アンチモン製品輸出品量がそれぞれ中国国内において約40%を占め、中国一の取扱量となっている。Minmetalsの2005年度売上高は17.78bUS\$であり、中国上位500社の中で第11位にランキングされる。

中国五鉱有色金属股份有限公司(China Minmetals Non-ferrous Metals Co., Ltd: 以下「Minmetals NF」)

2001年12月18日、Minmetalsは、下表に示す国内大手企業五社と連携し、非鉄を扱う傘下の企業として“Minmetals NF”を設立した。Minmetals NFにとってMinmetalsは82.23%の株式を有する持株会社である。業務内容は、当初は鉄鋼輸入が中心であったが、その後、非鉄金属の輸出入部門、貨物輸送部門、不動産、建築及び土木部門等の様々な分野に参入し多角化している。Minmetalsが特に積極的に進めている分野は鉄鋼、非鉄金属、各種素材原料の貿易、金融、不動産であり、それぞれの分野の専門性を高め、持続的な発展を目指す総合企業として発展させる方針を明らかにしている。主に事業の柱の一つであるタングステン部門の貢献により2005年度の売上高3,224m US\$(264億円)はUS\$ベースで前年度比51%増、純利益98mUS\$は前年度比44%増となっている。取り扱う金属種により事業部門が分割されており、売上高の順に①アルミ、②タングステン、③銅、④錫・ニッケル、⑤鉛・亜鉛・貴金属・希少金属、⑥アンチモン、⑦REE(希土類元素)である(※)。企業概要の項で示したような投資企業を介してタングステン、アンチモン、アルミナ等の生産も行っている。

Minmetals NFの株主構成

株主(企業名)		保有株数(百万株)	割合(%)
中国五鉱集团公司	China Minmetals Corp.	506.5261	82.23%
上海工業投資(集団)公司	Shanghai Industrial Investment(Group)Co.,Ltd	65.1086	10.57%
金誠江成源製錬所	Jinchengjiang Chengyuan Smelter	20.2753	3.29%
宜興新威集团公司	Yixing Xinwei Group Co.,Ltd	16.2771	2.64%
中国食糧油食品輸出入集团公司	China National Cereals, Oils and Foodstuffs Corp.	5.2086	0.85%
自貢硬質合金有限責任公司	Zigong Cemented Carbide Co.,Ltd	2.6043	0.42%
計		616.0000	100%

※参考:「五鉱」とはもともと「五金鉱産」の略であり、「五金」とは狭義には金・銀・銅・錫・鉄の5つの金属を意味し、転じて広義の意味で金属全般や金物を指す。

<貿易型企業から“資源型企業”への転換>

JOGMEC 金属資源レポート 2005年9月号に掲載された「-国際会議報告-中国の資源戦略=国家戦略、海外展開、Minmetals、スクラップ=(第4回中国・非鉄金属産業投資・貿易・国際協力会議報告)」の中で“中国五鉱集团公司の「商社から資源企業への戦略的転換」と題した五鉱有色金属股份有限公司の許峰副經理(社長)の講演資料があり、この中で資源型企業への転換戦略が述べられている。要約するところ次のようである。

『Minmetals NFは、投資企業16社(株式支配企業11社、資本参加企業6社)を傘下に置いて、上記の計7部門(※)からなる。従来はこれら金属原料や中間製品等の輸出入業務が主体であったが、2003年、中国国内のタングステン鉱山会社三社(次頁表参照)の持株会社となり精鉱生産量は中国の1/3以上、タングステン鉄合金生産量は1/2以上とし、タングステンに関しては一次製品～中間製品～加工製品という一貫生産体制を確立した。また、錫とアンチモンは製錬企業を傘下に置いて、アンチモン製品生産量は世界消費量の30%を占める。同じく2003年、米国第二のアルミナメーカーであるSherwinのアルミナ工場を買収し1.6mtのアルミナ供給を可能とした。また、ALCOAのアルミナ生産拡張プロジェクトへの240mUS\$を投資し400ktのアルミナを30年間にわたり供給を受ける契約を交わしている。以上のようにタングステンとアンチモンという強みのある2大資源(利益率が高い)を中心とし他を従として徐々に生産部門を取り込み、貿易型企業から資源型企業に転換するための基礎を固めつつある。2004年度、Minmetals NFの鉱業資産は総資産の70%を占めるに至り、貿易型企業から資源型企業への転換がほぼ成功した。貿易企業が既存の強力な基盤をベースに貿易の川上と川下に進出してこそ、企業の競争力と持続的な発展力が高められ、長期にわたる健全な発展が可能とし、そのモデルケースとして三井物産とGlencoreが挙げられる。鉱産品貿易企業の資源型企業への転換は、企業が成長するための内在的要求であり、また市場の激しい競争ゆえのことでもある。』

(2) 設立までの経緯と近年の動向

中国の鉱業関連機関や国営企業の歴史は複雑である。中国の非鉄業界は、歴史的には他の産物と同様に生産と流通に分けて管理されてきた。Minmetals 及び Minmetals NF の母体とも言える“五金鉱産進出口総公司”及び“有色金属工業総公司”双方の系列に大きく分けて、鉱業関係機関、省庁、国有企業の略歴及び Minmetals グループ設立までの経緯と最近の動向を下表に示す。

Minmetals・Minmetals NF の設立までの経緯と中国鉱業関係省庁・機関・国有企業の略歴

年	五金鉱産進出口総公司の系列	有色金属工業総公司の系列と鉱業関係省庁
1949	中華人民共和国成立、重工業部(省)設立	
1950	“中国鉱産公司”設立(五鉱総公司の前身: 金属・鉱産物・電気機械製品を取扱う)	重工業部に“中央有色金属工業管理局”設置
1955	“中国五金進出口公司”設立(中国五金電工進出口公司から改称)	
1956		重工業部を解散し、“冶金工業部(鉄鋼業と非鉄業を管理)”、“化学工業部”、“建築材料工業部”の3部を作る
1960	“中国五金鉱産進出口公司”設立(“中国鉱産公司”と“中国五金進出口公司”が合併)	
1972	同社代表団の訪日を機会に日本との鋼材取引開始	
1981		“国家有色金属工業管理総局”成立(国務院直属)
1982		“国家有色金属工業管理総局”の“中国有色金属工業総公司”への改組決定。 “地質鉱産部”設立(鉱物資源の一元管理)
1983		“中国有色金属工業総公司”発足(国務院直属)その傘下に“中国有色金属對外工程公司(現在の“中国有色鉱業集团有限公司)”)も設立。
1988	“五鉱国際實業發展公司”、“五鉱国際有色金属貿易公司”、“五鉱貿易有限公司”、“五鉱貴希鉱産品進出口公司”等の子会社を設立	
1994	8月、“中国五金進出口総公司”ら34社が上海で“中国稀土産業協会”を設立。	
1997	8月、上海証券取引所に上場 11月、五鉱グループは世界最大のタングステン生産者“Xiamen Tungsten Co.,Ltd”に出資参加。	
1998	中国有色金属工業総公司解散により、その傘下の貿易商社“中国有色金属工業進出口公司”は“五金鉱産進出口総公司”に吸収合併 5月、ウェブサイト開設(www.minmetals.com)	“中国有色金属工業総公司”解散。国家經濟貿易委員会管理下に“国家有色金属工業局”を設立し業務移管。“中国有色鉱業集团有限公司”は“中色建設集团公司”と名称変更。 “国土資源部”設立(地質鉱産部・国家土地管理局・国家海洋局・国家測量局を統合)
1999		8月、100前後あった非鉄金属国有企業は、近代化のため①中国アルミ業集团公司(CHALCO)、②中国銅鉛亜鉛集团公司(CCLZ)、③中国希少金属・稀土金属集团公司(CRRC)に統合された。※
2000	事業が重複する“中国有色金属工業貿易公司(本部)”、“中国鉱業国際有限公司和中国有色金属(香港)”を再編。	5月、“中色建設集团公司”は国家国有資産監督委員会の管轄下となった。 6月、国務院決定により99年に設立された三大集团公司を解散し地方政府に移管(CHALCOの一部は中央所属)。 “中国有色金属工業協会”設立。中国有色金属工業局業務を移管
2001	傘下の非鉄部門として“五鉱有色金属股份有限公司(Minmetals NF)”設立 2月、“中国アルミ業公司(CHALCO)”正式発足。	
2002	Minmetals は中国の主要な銅生産企業5社と“中銅連合銅業有限責任公司(CUC)”設立。	
2003	Minmetals NF は、タングステン鉱山会社三社(江西鶴業集团有限公司、江西省修水香炉山鶴業有限責任公司、南昌硬質合金有限責任公司)の持株会社となった。また、Sherwin 社(米第2のアルミナ企業)の Shewin アルミナ工場を買収し1.6mtのアルミナ供給能力確保した。	
2004	“五金鉱産進出口総公司”は“中国五鉱集团公司(Minmetals)”に改称 9月、Minmetals は Noranda に買収提案(05年3月、Noranda-Falconbridge 統合により買収交渉打ち切) 10月、KGHM(ポーランド)と銅地金輸入に関する合意(2010年までに300kt) 11月、キューバの Las Camaricas フェロニッケル工場(68kt/y)再建に関する協定締結(出資比率: Cuba Nickel 社 51%、Minmetals 49%)	

2005	<p>東方資源管理公司を“五鈹資源公司”に社名変更、中語略称:“五鈹資源”、Minmetals NF 傘下)</p> <p>1～2月、Minmetals 総裁がベネズエラ、キューバ、ジャマイカを訪問し、キューバのフェロニッケル工場 再建協定の促進確認、ジャマイカではボーキサイトを開発する協定締結</p> <p>1月5日、“中色建設集团公司”は国家国有資産監督委員会及び国家工商行政総局の許可を得て、 “中国有色鈹業集团有限公司 (CNMC: China Nonferrous Metal Mining(Group)Co.,Ltd)と社名変更。</p> <p>5月31日、Minmetals は CODELCO と鈹業投資と鈹石供給に係る協定書に署名(550mUS\$の Gaby 鈹床開発資金提供、Minmetals 社は見返りに15年間に亘って57kt/yの銅供給を受け、25～49%の資 本参加オプション権を得る)</p> <p>9月、Minmetals はキューバに於いて合弁会社か100%子会社を設立させ、600mUS\$によりニッケル資 源開発(2007～08年に着手予定の製錬所建設及び発電所建設含む)に乗り出すと発表。</p> <p>10月、Minmetals が北朝鮮貿易省と石炭生産を行う合弁会社設立に関する協定を締結</p> <p>11月9日、Minmetals は三菱商事(株)と「戦略的提携関係の確立に関する協議書」に署名し、Minmetals 傘下の五鈹鋼鉄公司与メタルワン(株)による合弁会社“鋼鉄(武漢)有限公司”を正式に設立。</p>
2006	<p>Minmetals、CODELCO との合弁会社設立の合意文書に調印。</p> <p>3月7日、2006年度カナダ中国鈹業コンファレンス開催 (Minmetals、紫金鈹業集团ほか双方60社)</p> <p>4月4日、Minmetals は甘肅省肅北県にある碓溝銀・鉛・亜鉛鈹床探査プロジェクトに調印。共同出資 者は甘肅建新実業集团有限公司、甘肅有色地質探査局で探査及び開発まで共同で行う。</p>

(※出典:「非鉄原料調達の実情(その1) 中国政府と一体化し非鉄原料の安定確保を図る中国五鈹集团公司 (Minmetals), H17.4.28, JOGMEC カレントピックス(納北京海外調査員)」、「シリーズ(その2) 中国有色鈹業集团公司, H17.8.18, JOGMEC カレントピックス(納北京海外調査員)」、「有色金属量の管理体制・機構改革, H13.4.6, JOGMEC カレントピックス(狩野北京海外調査員)」、JOGMEC ニュースフラッシュ、Minmetals ウェブサイトほか)

上表において非鉄金属の流通・貿易部門の現在までの流れは大きく次のように3分類できる:

- ① 1949年の中国設立以来、非鉄貿易も含めた五金鈹産進出口公司の一元管理時代
- ② 改革解放後の所謂自由化により1983年中国有色金属進出口公司設立以降の並立時代
- ③ 1998年の中国有色金属工業総公司解散に伴う中国有色金属工業進出口公司(貿易商社)の五金鈹産進出口公司への吸収合併以降

(※ただし、輸出入許可(E/L, I/L)管理を除けば、非鉄金属貿易は原則として各鈹山・工場が自由に行えるようになっていく。))

〔◎補足：“五金鈹産進出口総公司”と“有色金属進出口総公司”を巡る改革の背景〕

1949年の中華人民共和国成立以来、改革・開放前(1976年文化大革命終了以前)の中国は統制経済下にあり、非鉄の各鈹山・工場は当初、“重工業部”、その後“冶金工業部”、“軽工業部”等いずれにしても中央政府の“部”(日本の“省”に相当)直営の国営であった。

一方それらの海外取引は1952年設立の“貿易部”(その後改組を続け、1982年“対外経済貿易部”、1993年“対外経済貿易合作部”、2003年“商務部”)傘下の国有企業により独占・一元管理されていた。(中国において「貿易」とは「国内外取引」を意味する)

非鉄貿易に関しては、当時の“五金鈹産進出口公司”が対外貿易を一手に取り扱っていた。その後1970年代後半に復権した鄧小平により社会主義市場経済、改革・開放政策と実質的な資本主義的要素を取り入れる中で各関係部(省)が傘下の工場製品の輸出入を取扱う進出口公司を設立して行った。例えば1983年に冶金工業部より分離・独立した“有色金属工業総公司”傘下に作られた“有色金属進出口公司”がそれである。この時点では非鉄製品は“五金鈹産進出口総公司”と“有色金属進出口総公司”の両社が中心に取り扱っていた。また開放政策推進の中で金属・非鉄とは関係のない公司(会社・組織)も鈹山・工場と特別の関係を利用して取り扱うケースも見受けられたが、輸出許可取得の段階等で混乱を来した例も多い。

中国政府は1990年代後半に中国経済の市場経済化を更に促進させるため行政と企業活動の分離を積極的に行った。“有色金属工業総公司”は最終的に1998年、国务院(政府)組織の一つである“国家経済貿易委員会”の一部局である“国家有色金属工業局”に縮小・改組された。この流れの中で各鈹山・工場の監督は地方政府に委ねられ、所有権は国営から外資も含めた民営へと株式公開がなされた。その際、優良企業ほど買手が付くのが早く、不良債権や負担(住宅・学校・病院等から退職者への保障等生活全般補助)の大きい企業ほど取り残された。1999年8月6日、100前後あった非鉄金属国有企業は、生産販売体制整備、技術開発の推進、国際競争力ある近代的企業への発展を目指して、一旦は次の三大集团公司に統合された。

- ・中国アルミ業集团公司 (CHALCO :China Aluminum Corporation) ※現存
- ・中国銅鉛亜鉛集团公司 (CCLZ:China Copper Lead Zinc Corporation) ※地方政府に移管
- ・中国希少金属・希土金属集团公司 (CRRC :China Rare Metals and Rare Earth Corporation) ※〃

ところが、2000年6月、国務院による中央所属の非鉄金属企業単位の管理体制に関する決定を受け、これら三大集团公司は解散され、管理を地方政府に移管された。なお、“中国アルミ業集团公司”については、一部を中央所属とし、大部分の企業を地方政府管理とされたが、2001年2月、“中国アルミ業公司(CHALCO)”が正式に発足した。(※三大集团公司:「有色金属量管理体制・機構改革、H13.4.6、JOGMEC カレントピックス(狩野北京海外調査員)」による。)

なお、有色金属工業総公司の傘下にあった“中色建設集团公司”は、2000年5月に国家国有資産監督局の管轄下となり、2005年には“中国有色鋁業集团公司”と社名変更して、海外での鋁山開発や製錬所建設などの合弁事業を積極的に展開している。(非鉄原料調達先兵(その2)中国政府と一体化し非鉄原料の安定確保を図る中国有色鋁業集团有限公司,H17.8.18、JOGMEC カレントピックス(納北京海外調査員))

(3) 中国の資源戦略と Minmetals・Minmetals NF の役割

1990年代後半までの中国は、広大な国土に豊富に有する国内鋁物資源を採掘・精製・加工し輸出することで外資を稼ぐ体制にあった。90年代後半以降、日本はじめその他海外製造業が安価な人件費と巨大な市場を求めて中国に進出したこと、中国政府が国営企業の民営化を推進したことなどから工業の発展が急速に進行し、エネルギーや鋁物資源の膨大な消費国に転じた。鉄鋼分野では従来、原料の原料炭・鉄鋁石共に国産であったが低品位の国産鉄鋁石は輸入鉄鋁石へとシフトして行った。豊富な石炭を原料とするコークスは中国の主要輸出品の一つであったが国内消費比重が高まっている。非鉄関係についても同様であり、従来は輸出奨励対象(外貨獲得源)であった非鉄原料・製品は内需優先の対象に政策が変わってきた。例えば、鋁産物の増値税(消費税の一種)の輸出に係る還付率の低減、廃止、更には輸出税の課税などが2006年から07年にかけて具体化されつつある。(内需優先策には加工分野の強化、外資や海外技術導入も念頭にあるものと考えられる) 加えて鉄鋁石と同様、非鉄分野においても国内鋁山・製錬所の拡充と同時に海外資源の確保も積極的に外交主導で行われており、以上は総じて“走出去(海外進出)”戦略と呼ばれる。海外探鋁開発は有色鋁業建設集团有限公司や冶金建設集团公司によってなされ、Minmetalsは、海外融資・出資等を行うとともに、中銅連合銅業有限責任公司(CUC: Minmetals NFと主要な銅製錬5社とで設立)や、金川集团公司、雲南同業集团公司、紫金鋁業公司等は、海外における合弁や出資による探鋁・開発事業を推進しており、M&A、提携等の状況はおよそ次表のとおりである。

中国企業による M&A、提携等の状況 (出典:RMG、JOGMEC の資料を基に作成)

年	企業名	投資先	投資対象
2006	中国有色鋁業集团有限公司 (CNMC)	ザンビア	11月、生産能力150,000t/yの銅製錬所建設開始。(Chambishi 鋁山近傍、投資額200mUS\$以上、生産開始2008年) 9月、SX-EW カット生産開始(投資額15mUS\$、建設開始04年11月)
		北朝鮮	9月、北朝鮮企業の朝中国際鋁業公司与 Hyesan 銅鋁山共同再開発に合意(埋蔵金属量250kt)
		モンゴル	6月、Tumurtin Owoo 亜鉛鋁山生産開始。(投資額44.59mUS\$、権益51%、精鋁中含量Zn32.7kt/y)
	紫金鋁業(Zijing Mining)	南ア	南アで Sheba's Ridge 鋁床など PGM の探鋁開発を進める Ridge Mining(英)の株式20%とワラント債を15.5mUS\$で買収。
	金川集团公司(Jinchuan Group)	加	Tiomin Resources Inc.の株式9.9%を6.7mUS\$で買収
2005	五鋁集团公司(Minmetals)	チリ	CODELCO と550mUS\$で合弁会社設立。CODELCO の Gaby Sul 銅山開発プロジェクト(2bUS\$)に25~49%の範囲で出資参加。
	金川集团公司(Jinchuan Group)	チリ	スイス Marc Rich 投資会社と Montecristo 銅山への共同投資契約締結。(銅精鋁全量専売権付き)
	雲南銅業公司	ラオス	同国政府と銅探鋁契約締結し北部3省で8銅山の探鋁権取得。
2004	五鋁集团公司(Minmetals)	加	Noranda に買収提案したが、'05年3月に断念し、個別開発案件に参加する方針に切り替え。
	五鋁集团公司(Minmetals)	ポーランド	KGHM と銅地金供給(2010年まで銅300ktを供給)に合意。

2004	江西銅業集团公司	タイ	Thai Industries 社と Rayong 銅製錬所事業提携。'04年6月稼働開始(165kt/年)
	中国有色鋳業集团有限公司 (CNMC)	マレーシア	Kelantan 州の探査・開発協力協定締結し、銅などの探鉱・採掘権を取得。
	中国国際鋳業株式会社 (Sino-Mining International Ltd.) ※Minmetals 傘下(直接持株企業)	豪州	豪州北部に多数の銅探鉱プロジェクトを有するジュニア ORD 社の株式取得。
2003	五鋳有色金属股份公司 (Minmetals NF)	中国	タングステン鋳山会社3社(江西鋳業集团有限公司、江西省修水香炉山鋳業有限責任公司、南昌硬質合金有限責任公司)の持株会社となった。
		米国	Sherwin アルミナ工場を買収し1.6mt/yのアルミナ確保
		米国	Alcoa のアルミナ生産能力拡張プロジェクトに240mUS\$を投資することで30年間にわたる400kt/yのアルミナ供給を確保
2001	中国冶金建設集团公司	パキスタン	同国政府より Saindak 銅山開発について10年間の租借経営契約締結。'03年8月生産開始(20kt/y)
1998	中国有色鋳業集团有限公司 (CNMC)	ザンビア	Chambishi 銅山の権益85%を取得。2003年7月、銅精鋳生産開始(銅量21kt/y)

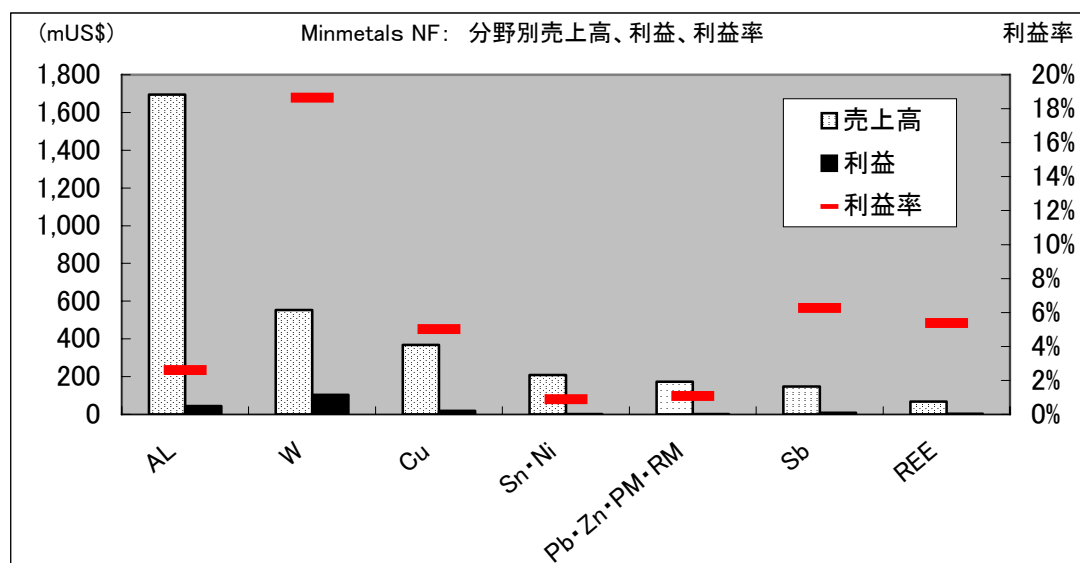
5. 事業内容

Minmetals NF は、Minmetals 傘下にあつて鋳産物を扱う貿易業務及び投資企業を介したタングステン、アンチモンなどの鋳業生産を一手に行っている。Minmetals NF のホームページに掲載された財務実績データを基に事業部門別のセグメントデータを以下に図表で示す。

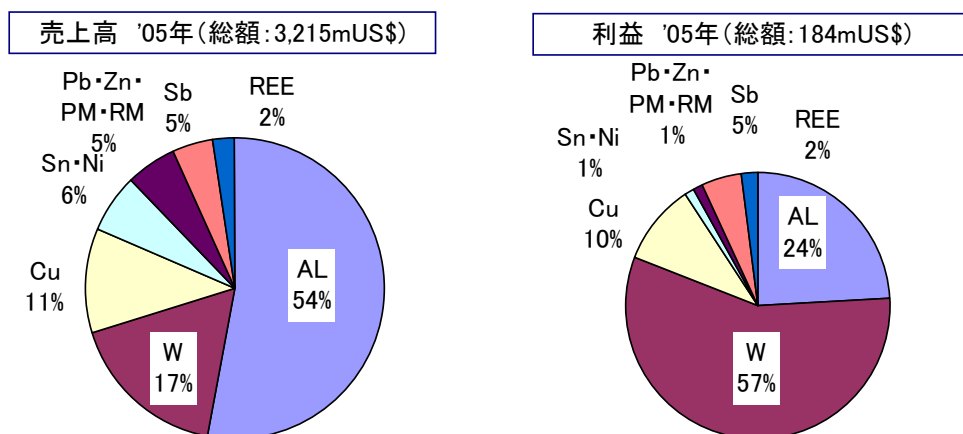
Minmetals NF：部門別の売上高、利益、利益率

部門名称	売上高('05年)			利益('05年)※			利益率
	(10億元)	(mUS\$)	割合(%)	(10億元)	(mUS\$)	割合(%)	
(1)アルミニウム	(13.894)	1,696	52.7%	(0.362)	44	24%	2.6%
(2)タングステン	(4.534)	553	17.2%	(0.846)	103	56%	18.7%
(3)銅	(3.016)	368	11.4%	(0.151)	18	10%	5.0%
(4)錫、ニッケル	(1.710)	209	6.5%	(0.015)	2	1%	0.9%
(5)鉛・亜鉛、貴金属、希少金属	(1.417)	173	5.4%	(0.015)	2	1%	1.1%
(6)アンチモン	(1.208)	147	4.6%	(0.076)	9	5%	6.3%
(7)レアアース	(0.562)	69	2.1%	(0.030)	4	2%	5.4%
合計	(26.341)	3,215	100%	(1.510)	184	100%	5.7%

※ 利益は、各セグメントの割合のみ公表されているため、利益の総額を割り振って示している。



Minmetals NF：部門別の売上高・利益・利益率



Minmetals NF: 2005 年度 売上高と利益の部門別割合

各事業部門の 2005 年度の状況は次のとおりである。

(1) アルミ部門

Minmetals NFは、2005年度、22,120ktのアルミナを取扱い、売上高1,696mUS\$(139億元)は総計3,215mUS\$(263億元)の53%、利益44mUS\$(3.6億元)は総計184mUS\$(15.1億元)の24%であった。売上高は2004年比41%増となった。利益率は2.6%と比較的低い。

アルミ地金の輸出量100ktは、中国全輸出量の8%に相当し、同社は中国最大のアルミ地金輸出企業である。

<アルミ部門の投資企業>

- ・五鉱鋁業有限公司 (Minmetals Aluminium Co.Ltd)
- ・Sino Mining International Limited (※ALCOA からアルミナ(400kt/y)の30年間の供給契約を有する。)
- ・五鉱有色金属连云港有限公司 (Minmetals Nonferrous Metals Lianyungang Co.,Ltd.)
- ・Sherwin Alumina, LP.
- ・江西華銀鋁業有限公司 (Guangxi HuaYin Aluminium Corporation)

(2) タングステン部門

輸出品は、APT(パラタングステン酸アンモン)、WO₃、WP(タングステン金属粉)、WC(タングステンカーバド)等であり、2005年度は中国のタングステン関連製品輸出量の40%に達した。

売上高553mUS\$(453億元)は全体の17%、利益103mUS\$(8.5億元)は全体の56%を占めた。売上高は2004年比13.8倍と大幅増となった。利益率は18.7%と他部門を凌駕している。

同社のタングステン投資は全社投資計の27%を占めており、上記の企業概要(主要関連会社)の中にもあるとおり数多くの国内関連企業に投資しており業務範囲は川上から川下まで幅広く競争力をより強固なものとしている。

<タングステン部門の投資企業>

- ・江西省修水香炉山钨業有限責任公司 (Jiangxi Xianglushan Tungsten Co.,Ltd.)
- ・江西钨業集团有限公司 (Jiangxi Tungsten Industry Group Ltd.)
- ・南昌硬质合金有限責任公司 (Nanchang Cemented Carbide Limited Liability Company)
- ・厦門钨業股份有限公司 (Xiamen Tungsten Co.,Ltd.; ※Xiamen タングステン製錬所は世界最大規模)
- ・銘厦有色金属公司 (Minxia Nonferrous Metals Inc.)
- ・厦門三虹钨钼股份有限公司 (Xiamen Three Hong Tungsten Molybdenum Co.Ltd.)
- ・厦門金鷺特种合金有限責任公司 (Xiamen Golden Egret Special Alloy Co.,Ltd.)

(3) 銅部門

銅部門は、銅精鉱、粗銅、銅スクラップ、銅カソードの輸入、及び銅製品の輸出を行っている。2005年度の売上高368mUS\$(30.2億元)は全体の11%、利益18mUS\$(1.5億元)は10%に相当する。売上高は2004年比34%減であった。利益率5%は同社他部門と比較して中間に位置する。Minmetals NFの取扱量は銅精鉱で中国全体の30%、銅カソードは10%を占める。これらの95%はCODELCO、BHP Billiton、Anglo American、Antofagasta、KGHM等からの長期買鉱契約による。

Minmetals NFは、海外での事業開発を積極的に行っており、中国主要銅精錬5社とで設立されたCUC社(中銅連合銅業有限責任公司)の最大株主である。

＜銅部門の投資企業＞

- ・中銅連合銅業有限責任公司(CUC: China United Copper Co.,Ltd)

(4)錫、ニッケル部門

Minmetals NFは、錫地金、錫精鉱と金属ニッケルの輸出入を行っている。2005年度の売上高209mUS\$ (171億元) で全体の6.5%、利益2mUS\$ (1.5億元) は1%を占める。売上高は2004年比倍増となった。利益率は0.9%と同社の中で最も低い部門となっている。

主要投資先は、五鉱贛州錫業(有)、広西高峰鉱業(有)であり、錫製錬所では鉛・銀も回収している。

＜錫、ニッケル部門の投資先企業＞

- ・五鉱贛州錫業有限公司(Minmetals Ganzhou Tin Industry Co.,Ltd.)
- ・広西高峰鉱業有限公司(Guangxi Gaofeng Mining Co.Ltd.)

(5)鉛、亜鉛、貴金属、レアメタル部門

同部門では、鉛、亜鉛、銀、貴金属、レアメタルの輸出、及び鉛精鉱の輸入を行っている。2005年度の売上高173mUS\$(142億元)は全社の5.4%、利益2mUS\$(1.5億元)は全体の1%と低い。売上高は2004年比73%の大幅増となった。

鉛精鉱輸入量は中国全体の18%、鉛地金輸出シェアは6%、銀輸出シェアは14%であった。

(6)アンチモン部門

Minmetals NFは、アンチモン地金輸出量の45%を占めており、2005年度売上高147mUS\$(121億元)は全体の4.6%、利益9mUS\$(7.6億元)は全体の5%を占め、利益率は6.3%とタングステン部門に次いで高い。売上高は2004年比3.7倍と大幅増となった。

同部門の投資額は同社投資額の2%を占める。

＜アンチモン部門の投資先企業＞

- ・広西華錫化工有限公司(China Antimony Chemicals Co.,Ltd.)
- ・広西華晟五鉱貿易有限公司(Arksun Metals Co.,Ltd.)

(7)レアアース部門

同部門は、レアアース金属、酸化物、塩類、発光体、磁性材を輸出している。2005年度売上高は69mUS\$(56億元)で同社全体の2%、利益4mUS\$(3億元)は全体の2%を占める。売上高は2004年比2.3倍と大幅増となった。利益率は5.4%で同社の中では比較的高い。

売上高は中国の全輸出額の13%に相当する。

＜レアアース部門の投資先企業＞

- ・贛州市特迪希土有限公司(Ganzhou TD Rare Earth Limited)

(8)先物取引部門

同社の先物取引は中国証券監督管理委員会(China Securities Regulatory Commission: CSRC)が認定する3年以上の対外取引経験を持つディーラーが担当してリスクヘッジ等を行っており会社にはリスクコントロール上の規則を設けているとしている。(※2006年度上期にはLME銅先物取引で空売りにより約80mUS\$の巨額損失を出したと報じられている。)

(9)その他(電子商取引とコンピューター化)

同社は北京金網五鉱ネットワーク技術(有)に投資し、同社の技術により電子商取引・コンピュータ関係のシステム開発等のサービスを行っている。